



市長・副市長による現地視察

災害から1年が経過するのを前に、市長と副市長が甚大な被災箇所での復旧状況を確認しました。出水期を迎えるにあたり、「平成30年7月豪雨災害復旧・復興プラン」に掲げる3年での復旧に向けて、課題などについて地域の皆さんと意見交換を行いました。

この度の現地視察では、復旧状況の確認に加え、全ての市民が日頃から災害を意識し、地域での行動を起こしやすくする「声かけて避難」を合言葉に、地域防災力を高める事の重要性を訴えました。

意見交換を通じて、防災面で団結した地域の姿勢を受け取ることができました。一方、「現地で復旧状況は応急対応の段階であり、本復旧については遅れを感じている。特に、受益地が広範囲に渡る農業用施設は地元への影響が大きい。どういう工夫がふさわしいかを検討したい」と、考えを伝えました。

日 市長 6月4日(火)・6日(木)
副市長 5月29日(水)・31日(金)
場 八本松町、志和町、高屋町、黒瀬町、河内町、安芸津町の山腹崩壊、農地災害などの被災地14箇所



▲被災者から説明を受ける市長



▲高屋町小谷の被災現場

復旧・復興プランの進捗状況

復旧・復興を計画的に進めるために策定した「平成30年7月豪雨災害復旧・復興プラン」について、平成30年度末時点の進捗状況をお知らせします。

①暮らしの再生／相談支援、被災住宅応急修理、災害廃棄物の処理などを行いました。

引き続き見守りが必要な世帯があるため、今後も、被災者一人ひとりに寄り添う相談支援を継続していきます。

②産業基盤の再生／施設・設備復旧グループ補助金交付決定、農業用施設・機械の復旧支援などを行いました。

グループ補助金の要件に合わなかったケースについては、各種支援制度の利用促進を図っていきます。

③インフラの再生／公共土木施設の応急対策・査定、農地・農業用施設・林道の査定、上下水道施設の復旧などを行いました。

工事が大幅に遅れないように、発注方法の工夫や近接工事との調整などの対応をしていきます。

④これからの災害に強いまちづくり／防災体制の見直し、自助・共助の醸成に繋がる啓発活動などを行いました。

詳しい内容については、市ホームページで公開しています。

地元施工による打ち抜き井戸への補助

平成30年7月豪雨により井堰や水路などが被災し、他の方法では、水の確保が困難な箇所に対して、打ち抜き井戸の施工費用の一部を補助できる場合があります。

施工を検討される場合は、採択要件などについてお問い合わせください。

対 受益戸数2戸以上

内 打ち抜き井戸施工費用及びポンプに係る経費の一部

問 河川港湾課

☎(082)420・0940

災害復旧推進課

☎(082)426・3091

平成30年7月豪雨災害犠牲者追悼式の開催・追悼祭壇の設置

災害から1年を迎えるにあたり、犠牲となられた方々の御冥福をお祈りし、哀悼の意を表するとともに、復興への思いを新たにすため追悼式を開催します。また、市役所および各支所・出張所に追悼祭壇を設置します。

※お供えなどはお受けしません。

●追悼式

日 7月6日(土) 10時～

場 市民文化センターアザレアホール

内 黙とう、追悼の辞、献花など

●追悼祭壇

日 7月5日(金)・8日(月)・12日(金)

8時30分～17時15分

場 市役所本館1階ロビー、各支所・出張所

問 総務課

☎(082)420・0907